

編集後記

春の訪れを感じる季節になってきました。この編集後記を書いている2月には春一番が吹き、観測史上初めての「夏日」が観測されました。いったい日本はどこまで暖かくなってしまおうのでしょうか？寒いのは苦手ですが、しっかりとした四季があったのをなつかしく思う今日この頃です。さて、みなさまはいかがでしょう？

今号では、原著論文、研究資料、研究報告、総説を各1本と、10月に東京大学で開催された「ヘルスコミュニケーションウィーク 2025 in Hongo」の基調講演および「第17回日本ヘルスコミュニケーション学会」シンポジウムで発表された総説2編を掲載できる運びとなりました。2年前に編集委員長を引き継ぎましてから、はや2年。この間、みなさまからたくさんの投稿論文を受け取らせていただきました。ご投稿いただきましたみなさま、ありがとうございました。また査読をお引き受けいただきました先生方には、お忙しい中ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。このヘルスコミュニケーション学関連学会機構の幅広い領域のみなさまの底力が、これからは研究や実践の発展に少しずつでもつながっていくよう、引き続きみなさまのお力添えをいただければと願っております。今後も本学会誌を盛り上げてくださいますよう、よろしく願いいたします。

編集委員長 高山智子

日本ヘルスコミュニケーション学会誌-第17巻第1号

Health Communication Research Vol.17, No.1

2026年4月1日発行

日本ヘルスコミュニケーション学会誌編集委員会(2024-2025)

編集委員長

高山 智子 (静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科)

編集委員

會田 信子 (信州大学学術研究院保健学系)

大野 直子 (順天堂大学国際教養学部)

島崎 崇史 (東京慈恵会医科大学医学部環境保健医学講座)

杉本なおみ (慶應義塾大学看護医療学部)

宮脇 梨奈 (明治大学文学部)

八巻知香子 (国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部)

第17回日本ヘルスコミュニケーション学会報告 編集

八巻知香子 (国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部)

加藤 美生 (国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所感染症危機管理研究センター)

編集事務補佐

中村千須子 (静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科)

発行者 日本ヘルスコミュニケーション学会

<https://healthcommunication.jp/healthcommunication/>